

北区外国人意識・意向調査 報告書

(概要版)

【令和 5 年度】

令和 6 (2024) 年 3 月



目次

第1章 調査概要.....	3
第2章 調査結果.....	6
I. 回答者の基本属性について.....	6
(1) 性別.....	6
(2) 年齢.....	7
(3) 国籍または出身地.....	8
(4) 在留資格.....	9
(5) 日本での居住期間.....	10
(6) 北区での居住期間.....	11
(7) 居住地域.....	12
(8) 同居家族または同居人.....	13
(9) 職業.....	14
II. ことばについて.....	15
(1) 話すことができることば.....	15
(2) 日本語能力の程度.....	16
(3) 日本語の学習方法.....	17
III. 暮らしについて.....	18
(1) 北区の良い点・悪い点.....	18
(2) 北区で生活するうえでの困りごと.....	19
(3) 生活で困ったときの相談先.....	20
(4) 知りたい情報の入手方法.....	21
(5) 情報を得るときに一番使う SNS.....	22
(6) 連絡を取るときに一番使う SNS.....	23
(7) 生活するうえで必要な情報.....	24
(8) 近隣住民とのトラブルの経験.....	25
IV. 地震、台風等への対応について.....	26
(1) 災害時の心配ごと.....	26
(2) 避難場所の認知度.....	27
(3) 新型コロナウイルスによる困りごと.....	28
V. 子育てや教育について.....	29
(1) 15歳以下の子供の有無.....	29
(2) 通園、通学の有無.....	30
(3) 保育園・幼稚園での困りごと.....	31
(4) 通っている小中学校.....	32

(5) 学校での困りごと	33
(6) 子育て上での困りごと	34
VI. 多文化共生社会について.....	35
(1) 近隣住民との付き合い	35
(2) 地域活動への参加状況	36
(3) 地域活動への参加意向	37
(4) 近隣住民と生活するためにできること	38
(5) 日本人にしてほしいこと	39
VII. 北区の実施に対する評価.....	40
(1) 北区が行っている実施の認知度	40
(2) 北区が行っている実施の満足度・重要度.....	41
VIII. その他.....	44
(1) 北区に必要な実施	44
(2) 今後の北区への居住意向	45

第1章 調査概要

1. 調査の目的

「北区多文化共生指針」（平成30年7月策定）の改定にあたり、外国人区民の生活の実態や区に対する意見・要望を把握し、現状の分析や今後の多文化共生の推進に役立てることを目的としている。

2. 調査の設計

項目	内容										
調査地域	区内全域										
調査期間	令和5年11月6日（月）～11月30日（木）										
調査対象	北区在住の18歳以上の外国人区民										
標本数	2,000人 ※ 内訳は以下の通り <table border="1"><thead><tr><th>国籍・出身地</th><th>標本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国または台湾</td><td>1,000人</td></tr><tr><td>韓国または朝鮮</td><td>200人</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>200人</td></tr><tr><td>その他</td><td>600人</td></tr></tbody></table>	国籍・出身地	標本数	中国または台湾	1,000人	韓国または朝鮮	200人	ベトナム	200人	その他	600人
国籍・出身地	標本数										
中国または台湾	1,000人										
韓国または朝鮮	200人										
ベトナム	200人										
その他	600人										
抽出方法	住民基本台帳から層化二段無作為抽出										
調査方法	調査票を郵送し、郵送またはWebにより回答（自記式） ※ 調査票は、日本語版調査票（ルビ付・やさしい日本語）と外国語版調査票（言語別）を作成し、調査対象者別に以下のとおり配布した。 <table border="1"><thead><tr><th>国籍・出身地</th><th>標本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国または台湾</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）</td></tr><tr><td>韓国または朝鮮</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）</td></tr><tr><td>その他</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（英語）</td></tr></tbody></table>	国籍・出身地	標本数	中国または台湾	日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）	韓国または朝鮮	日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）	ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）	その他	日本語版調査票 外国語版調査票（英語）
国籍・出身地	標本数										
中国または台湾	日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）										
韓国または朝鮮	日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）										
ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）										
その他	日本語版調査票 外国語版調査票（英語）										

※ 調査対象には、特別永住者（日本で生まれ育ち、日本で学校教育を受けた人が多い）を含んでいる。

3. 回収結果

発送数	回収数	有効回収率
2,000 件	697 件	34.9%

※ 回答方法別の内訳：郵送 442 件（63.4%）、Web 255 件（36.6%）

※ 回答言語別の内訳：

やさしい日本語 380 件（54.5%）、英語 110 件（15.8%）、

中国語（簡体字）154 件（22.1%）、韓国語 9 件（1.3%）、ベトナム語 44 件（6.3%）

4. 調査内容

I 回答者の基本属性について	
(1) 性別	(6) 北区での居住期間
(2) 年齢	(7) 居住地域
(3) 国籍または出身地	(8) 同居家族または同居人
(4) 在留資格	(9) 職業
(5) 日本での居住期間	
II ことばについて	
(1) 話すことができることば	(3) 日本語の学習方法
(2) 日本語能力の程度	
III 暮らしについて	
(1) 北区の良い点・悪い点	(5) 情報を得るときに一番使う SNS
(2) 北区で生活するうえでの困りごと	(6) 連絡を取るときに一番使う SNS
(3) 生活で困ったときの相談先	(7) 生活するうえで必要な情報
(4) 知りたい情報の入手方法	(8) 近隣住民とのトラブルの経験
IV 地震、台風等への対応について	
(1) 災害時の心配ごと	(3) 新型コロナウイルスによる困りごと
(2) 避難場所の認知度	
V 子育てや教育について	
(1) 15 歳以下の子供の有無	(4) 通っている小中学校
(2) 通園、通学の有無	(5) 学校での困りごと
(3) 保育園・幼稚園での困りごと	(6) 子育て上での困りごと
VI 多文化共生社会について	
(1) 近隣住民との付き合い	(4) 地域住民と生活するためにできること
(2) 地域活動への参加状況	(5) 日本人にしてほしいこと
(3) 地域活動への参加意向	
VII 北区の取組に対する評価	
(1) 北区が行っている取組の認知度	(2) 北区が行っている取組の満足度・重要度
VIII その他	
(1) 北区に必要な取組	(3) 自由意見
(2) 今後の北区への居住意向	

5. 調査結果の見方

- ① 図表中の“n”とは、各設問の回答者数をいう。
- ② 回答の比率（％）は n を基数として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点以下第 1 位まで記載している。したがって、合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 性別、年齢別等の基本属性の設問に無回答である対象者がいるため、各基本属性の回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない場合がある。
- ④ 回答者数が 50 に満たないものについては、比率が上下しやすいため、図示するにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ⑤ 本文中で百分率の比較をする際には、「ポイント」と表記している。
- ⑥ 本文、表、グラフは表記の都合上、選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。
- ⑦ 統計数値を考察するにあたっての表現について、概ね以下のとおりとしている。

例	表現
百分率の比較をする際の差が 5 ポイント以上	やや高い、やや低い
百分率の比較をする際の差が 10 ポイント以上	高い、低い
百分率の比較をする際の差が 30 ポイント以上	非常に高い、非常に低い

第2章 調査結果

I. 回答者の基本属性について

Q1 あなたの性別を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

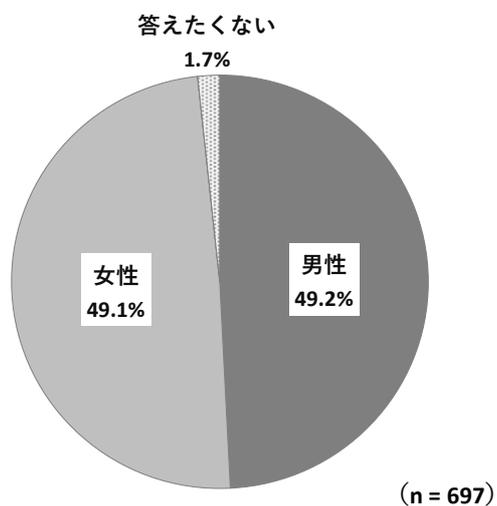


ポイント 男女の比率はほぼ同じ

「男性」は49.2%、「女性」は49.1%と、男女の比率はほぼ同じとなっている。

図表 I - 1

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
男性	343	49.2%
女性	342	49.1%
どちらでもない	-	-
答えたくない	12	1.7%



Q 2 あなたは何歳ですか。(チェック☑は1つだけ)

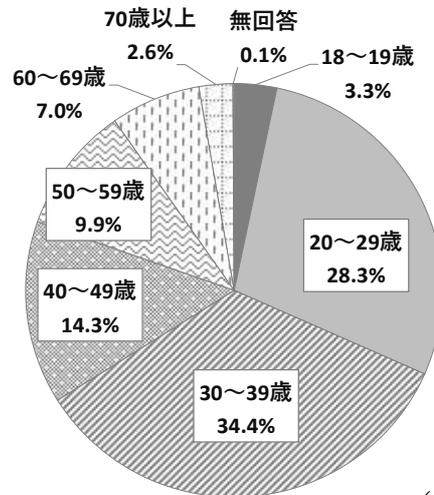


ポイント 20代から30代で6割以上を占める

「30～39歳」の割合が34.4%と最も高く、「20～29歳」(28.3%)、「40～49歳」(14.3%)と続いている。20代から30代で62.7%と、全体の6割以上を占める。

図表 I - 2

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
18～19歳	23	3.3%
20～29歳	197	28.3%
30～39歳	240	34.4%
40～49歳	100	14.3%
50～59歳	69	9.9%
60～69歳	49	7.0%
70歳以上	18	2.6%
無回答	1	0.1%



(n = 697)

Q3 あなたの国籍か出身地を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

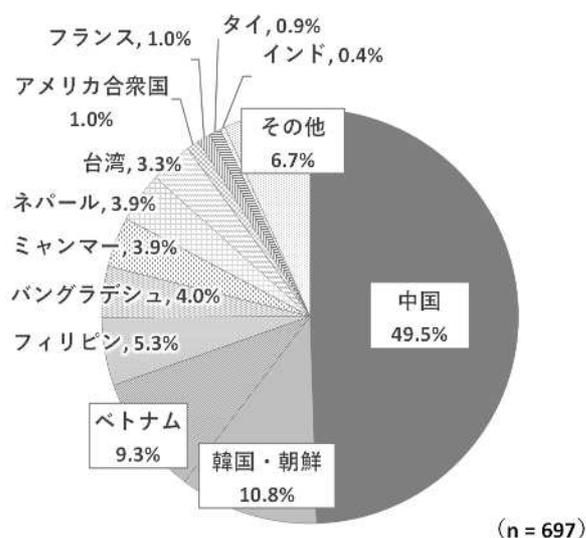


ポイント 中国がおよそ半数を占める

「中国」の割合が49.5%と最も高く、「韓国・朝鮮」(10.8%)、「ベトナム」(9.3%)と続いている。

図表 I - 3

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
中国	345	49.5%
韓国・朝鮮	75	10.8%
ベトナム	65	9.3%
フィリピン	37	5.3%
バングラデシュ	28	4.0%
ミャンマー	27	3.9%
ネパール	27	3.9%
台湾	23	3.3%
アメリカ合衆国	7	1.0%
フランス	7	1.0%
タイ	6	0.9%
インド	3	0.4%
その他	47	6.7%



< 「その他」の国籍・出身地 >

図表 I - 4

国籍・出身地	人数	国籍・出身地	人数
香港	6	オーストラリア	1
マレーシア	6	ウクライナ	1
インドネシア	4	英国	1
スペイン	4	シンガポール	1
ロシア	3	ベラルーシ	1
パキスタン	3	タンザニア	1
カナダ	2	イタリア	1
モンゴル	2	ボリビア	1
ニュージーランド	2	ドイツ	1
ブラジル	2	カンボジア	1
スリランカ	2	合計	47
ポーランド	1		

Q 4 あなたの在留資格を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

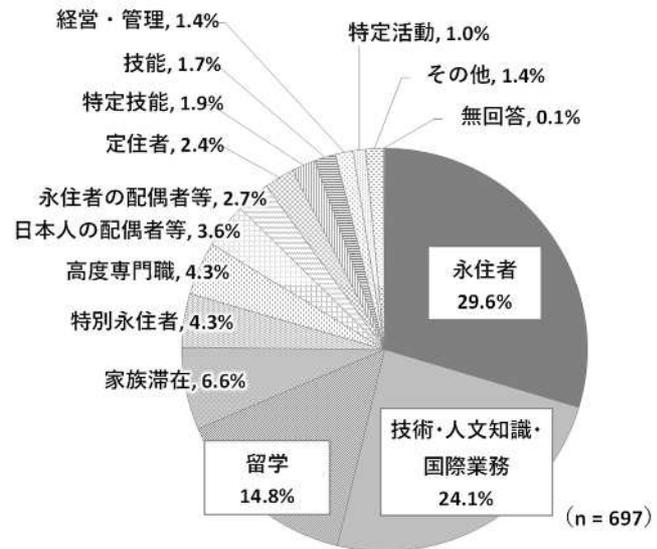


ポイント 「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」でおよそ7割を占める

「永住者」の割合が29.6%と最も高く、「技術・人文知識・国際業務」(24.1%)、「留学」(14.8%)と続いている。上位3つの在留資格の合計は68.5%と、全体のおよそ7割を占める。

図表 I - 5

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
永住者	206	29.6%
技術・人文知識・国際業務	168	24.1%
留学	103	14.8%
家族滞在	46	6.6%
特別永住者	30	4.3%
高度専門職	30	4.3%
日本人の配偶者等	25	3.6%
永住者の配偶者等	19	2.7%
定住者	17	2.4%
特定技能	13	1.9%
技能	12	1.7%
経営・管理	10	1.4%
特定活動	7	1.0%
その他	10	1.4%
無回答	1	0.1%



Q5-1 あなたは日本にどのくらい住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

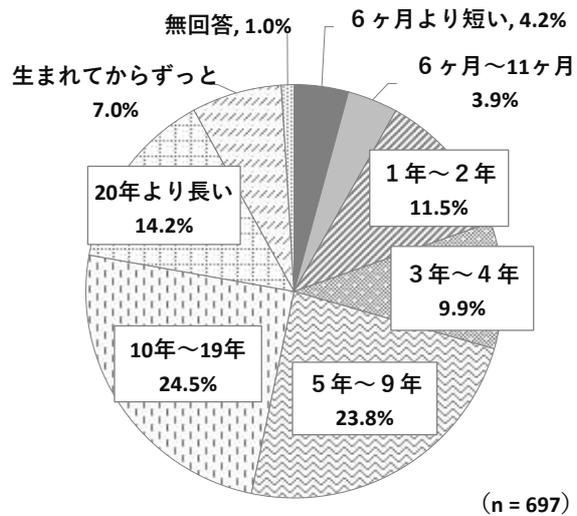


ポイント 「10～19年」の割合が最も高く、1年未満は1割に満たない

「10～19年」の割合が24.5%と最も高く、「5～9年」(23.8%)、「20年より長い」(14.2%)と続いている。

図表 I - 6

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
6ヶ月より短い	29	4.2%
6ヶ月～11ヶ月	27	3.9%
1年～2年	80	11.5%
3年～4年	69	9.9%
5年～9年	166	23.8%
10年～19年	171	24.5%
20年より長い	99	14.2%
生まれてからずっと	49	7.0%
無回答	7	1.0%



Q5-2 あなたは北区にどのくらい住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

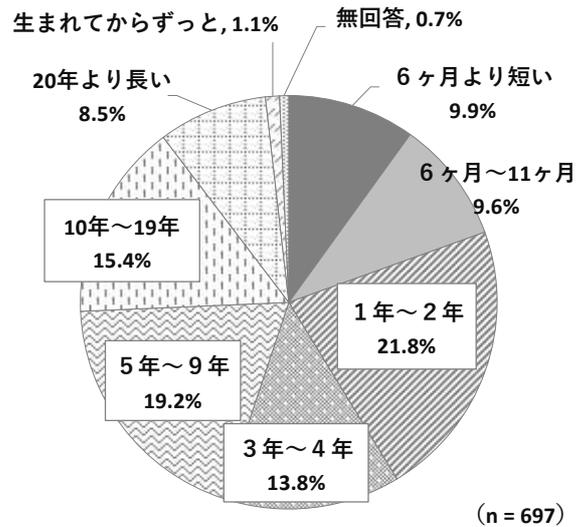


ポイント 「1～2年」の割合が最も高く、1年未満が比較的少ない

「1～2年」の割合が21.8%と最も高く、「5～9年」(19.2%)、「10～19年」(15.4%)と続いている。

図表 I - 7

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
6ヶ月より短い	69	9.9%
6ヶ月～11ヶ月	67	9.6%
1年～2年	152	21.8%
3年～4年	96	13.8%
5年～9年	134	19.2%
10年～19年	107	15.4%
20年より長い	59	8.5%
生まれてからずっと	8	1.1%
無回答	5	0.7%



Q 6 あなたは北区のどこの地域に住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

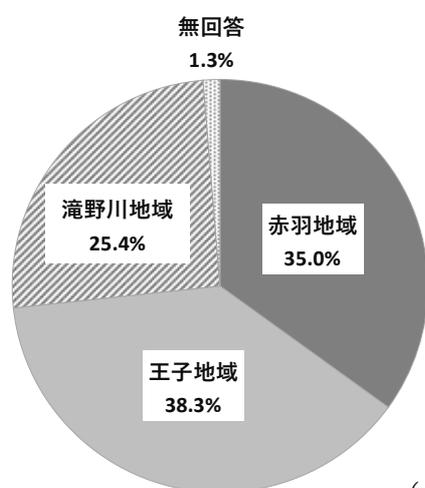


- ポイント**
- ・「赤羽地域」「王子地域」の割合が比較的高い
 - ・「滝野川地域」の割合は比較的低い

「王子地域」の割合が38.3%と最も高く、「赤羽地域」の割合は35.0%。「滝野川地域」の割合は25.4%と、他の2つの地域と比較して低い。

図表 I - 8

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
赤羽地域 (浮間・赤羽北・桐ヶ丘・赤羽台・赤羽西・西が丘・岩淵町・志茂・赤羽南など)	244	35.0%
王子地域 (中十条・岸町・十条台・王子本町・東十条・王子・豊島・堀船など)	267	38.3%
滝野川地域 (滝野川・西ヶ原・上中里・中里・田端・栄町・昭和町・東田端・田端新町など)	177	25.4%
無回答	9	1.3%



Q7 あなたと一緒に住んでいる人はだれですか。(チェック☑はいくつでも)

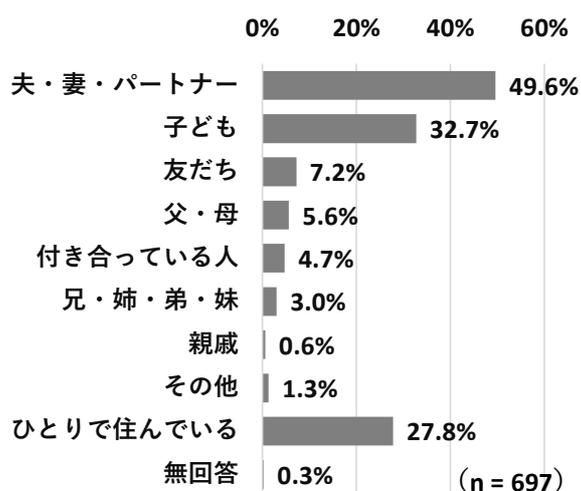


ポイント 家族等との同居が7割弱、単身世帯はおよそ3割

「夫・妻・パートナー」の割合が49.6%と最も高く、「子ども」(32.7%)、「友だち」(7.2%)と続いている。

図表 I - 9

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
夫・妻・パートナー	346	49.6%
子ども	228	32.7%
友だち	50	7.2%
父・母	39	5.6%
付き合っている人	33	4.7%
兄・姉・弟・妹	21	3.0%
親戚	4	0.6%
その他	9	1.3%
ひとりで住んでいる	194	27.8%
無回答	2	0.3%



Q 8 あなたの仕事は何ですか。(チェック☑は1つだけ)

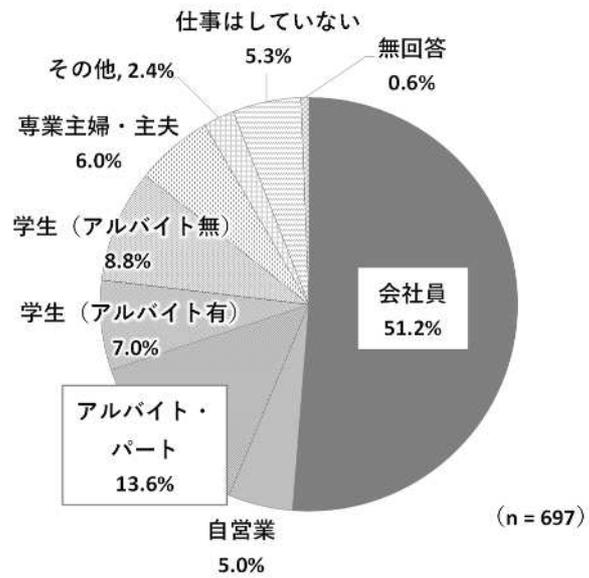


ポイント 「会社員」が5割を占める

「会社員」の割合が51.2%と最も高く、「アルバイト・パート」(13.6%)が続いている。学生全体の割合は15.8%となっている。

図表 I - 10

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
会社員	357	51.2%
自営業	35	5.0%
アルバイト・パート	95	13.6%
学生(アルバイト有)	49	7.0%
学生(アルバイト無)	61	8.8%
専業主婦・主夫	42	6.0%
その他	17	2.4%
仕事はしていない	37	5.3%
無回答	4	0.6%



II. ことばについて

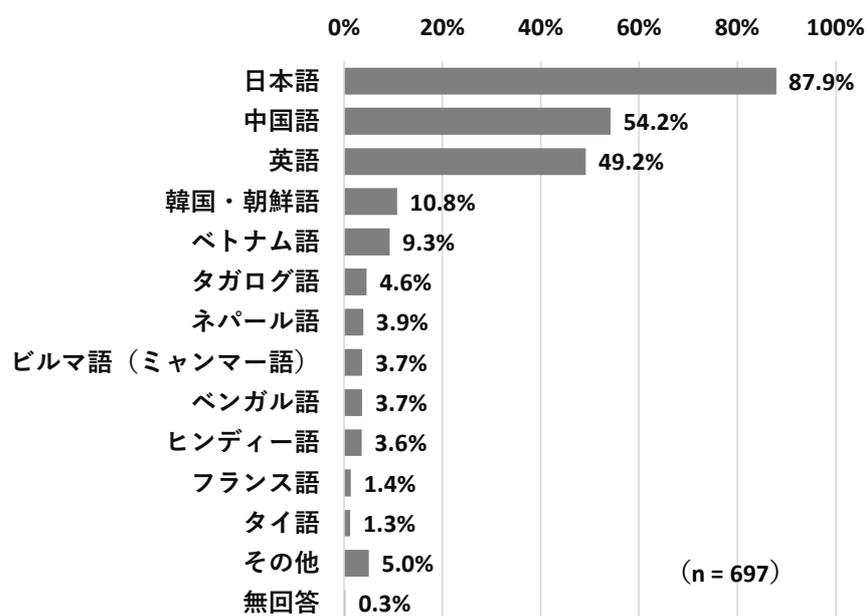
Q9 あなたが話することができることばはどれですか。(チェック☑はいくつでも)



ポイント 「日本語」が9割弱、「中国語」「英語」はおおよそ5割

「日本語」の割合が87.9%と最も高く、「中国語」(54.2%)、「英語」(49.2%)と続いている。

図表 II - 1



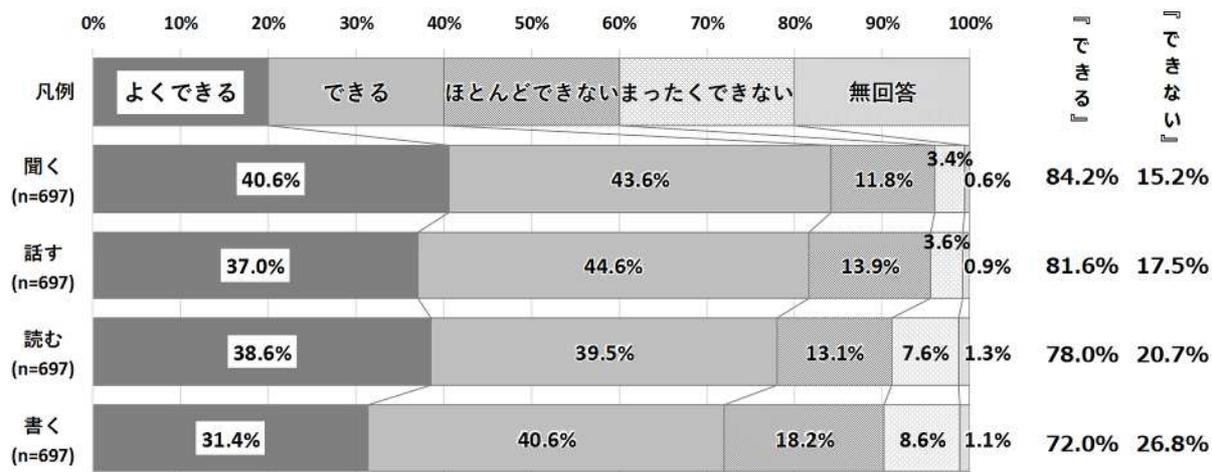
Q10 あなたはどのくらい日本語ができますか。
 (「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」のそれぞれにチェック框を1つずつ)



ポイント 全ての項目に対して『できる』が7~8割

「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の順に割合は下がるものの、7~8割が『できる』と回答している。

図表 II - 2



『できる』 = 「よくできる」 + 「できる」

『できない』 = 「ほとんどできない」 + 「まったくできない」

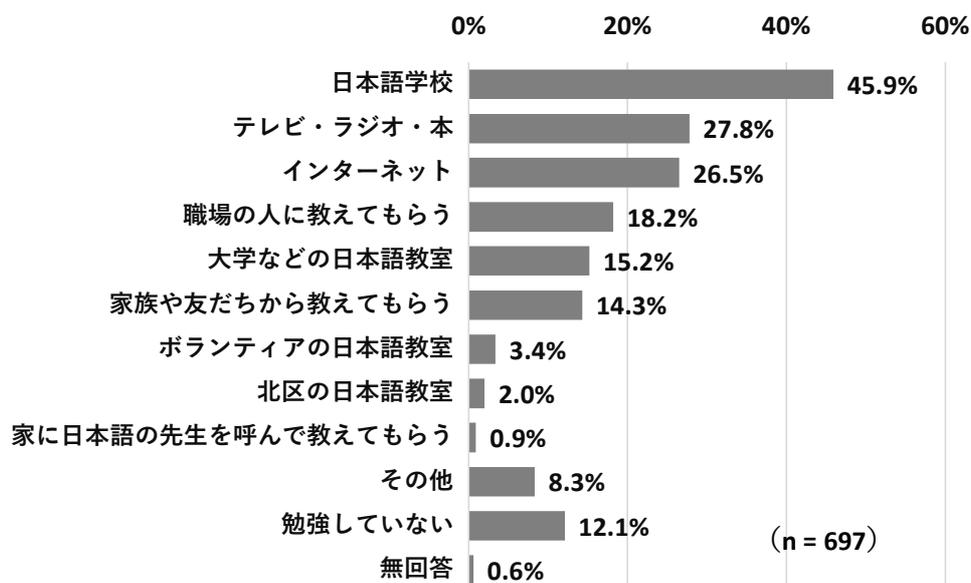
Q11 あなたは日本語をどうやって勉強しますか。(チェック☑はいくつでも)



ポイント 「日本語学校」が4割半ば

「日本語学校」の割合が45.9%と最も高く、「テレビ・ラジオ・本」(27.8%)、「インターネット」(26.5%)と続いている。

図表 II - 3



III. 暮らしについて

Q12 北区のどこが良いと思いますか。北区のどこが悪いと思いますか。

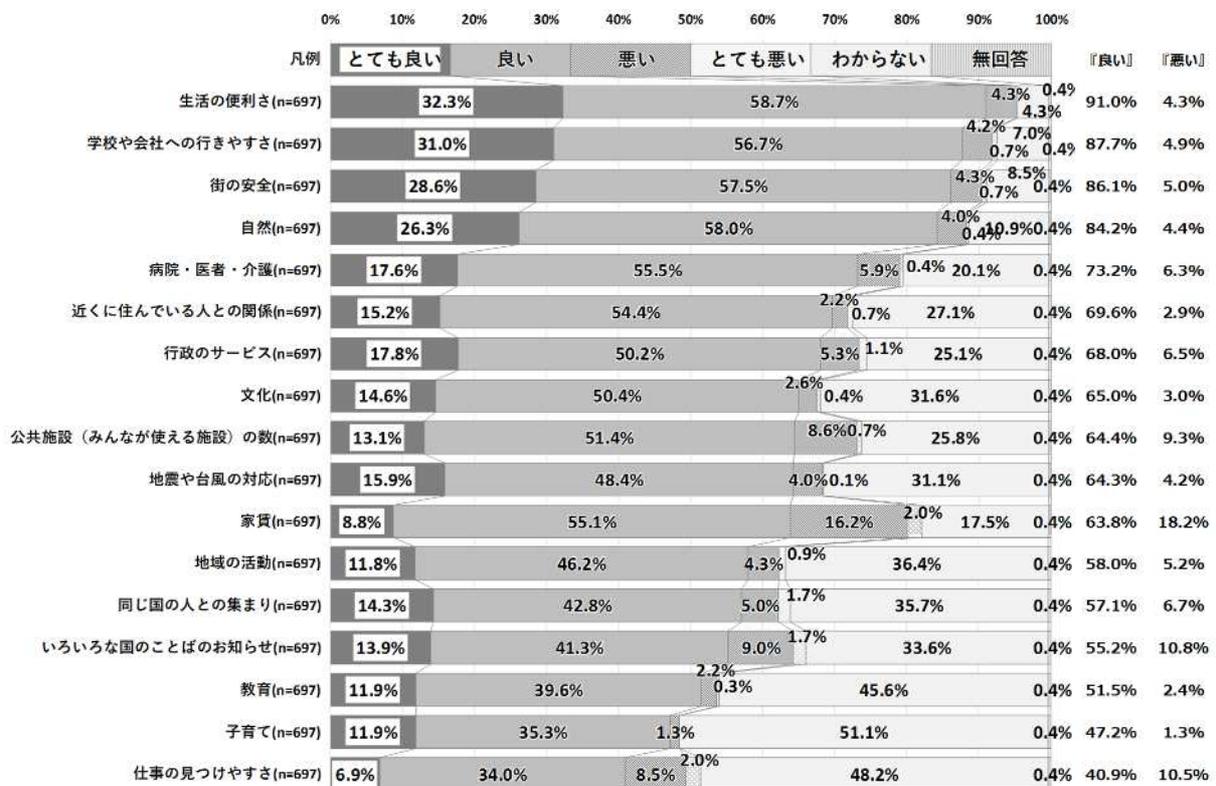
(①～⑰のそれぞれにチェック箱を1つずつ)



ポイント 「生活の便利さ」で『良い』と回答した人は9割以上

『良い』の割合が最も高い項目は「生活の便利さ」で91.0%。全ての項目において『良い』が『悪い』を上回っている一方で、「家賃」や「いろいろな国のことばのお知らせ」、「仕事の見つけやすさ」については『悪い』の割合が比較的高い。

図表III-1



『良い』 = 「とても良い」 + 「良い」

『悪い』 = 「悪い」 + 「とても悪い」

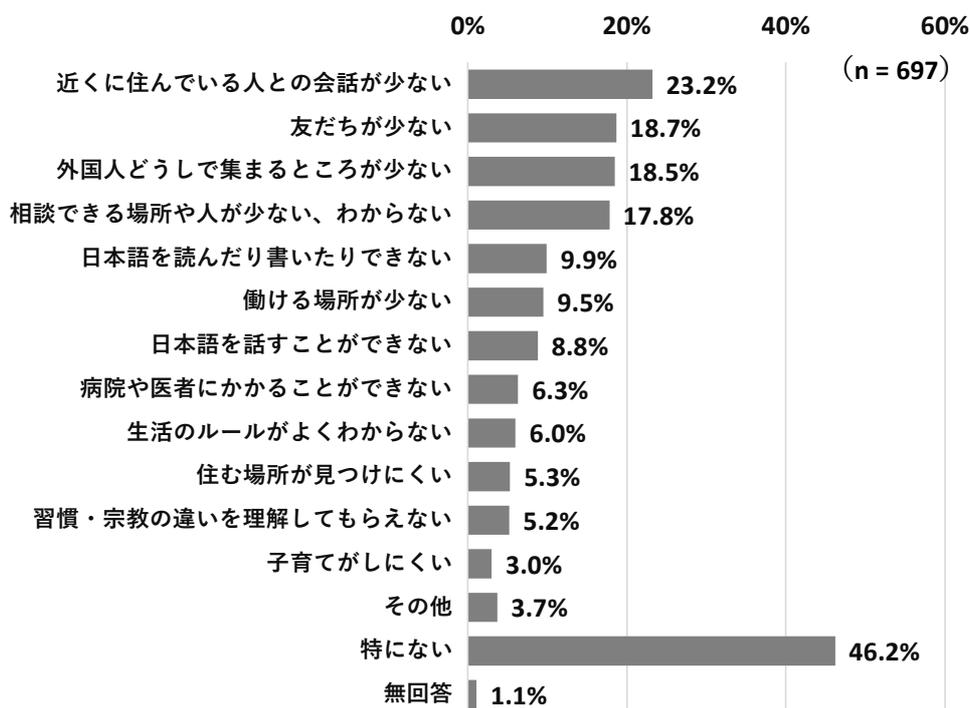
Q13 北区で生活をしていて困っていることはありますか。(チェック☑はいくつでも)



ポイント 近隣住民とのコミュニケーションや友達の少なさ等で困っている

「近くに住んでいる人との会話が少ない」の割合が 23.2%と最も高く、「友達が少ない」(18.7%)、「外国人どうして集まるところが少ない」(18.5%)と続いている。

図表III- 2



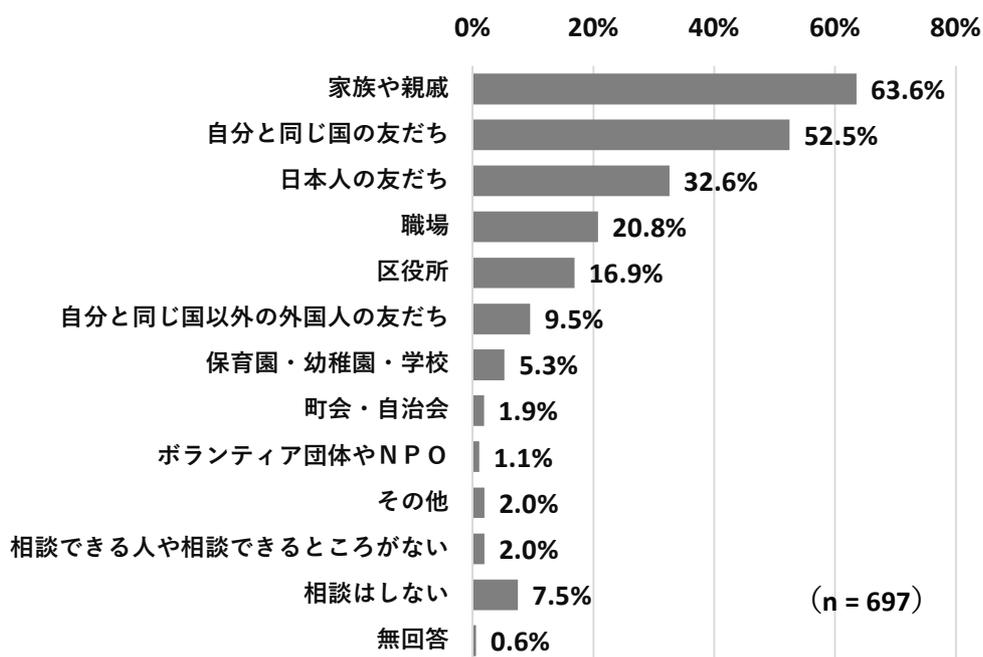
Q14 生活に困ったときにだれ（どこ）に相談しますか。（チェック☑は5つまで）



ポイント 困りごとの相談先は、親族や同国人が多い

「家族や親戚」の割合が63.6%と最も高く、「自分と同じ国の友だち」(52.5%)、「日本人の友だち」(32.6%)と続いている。

図表III- 3



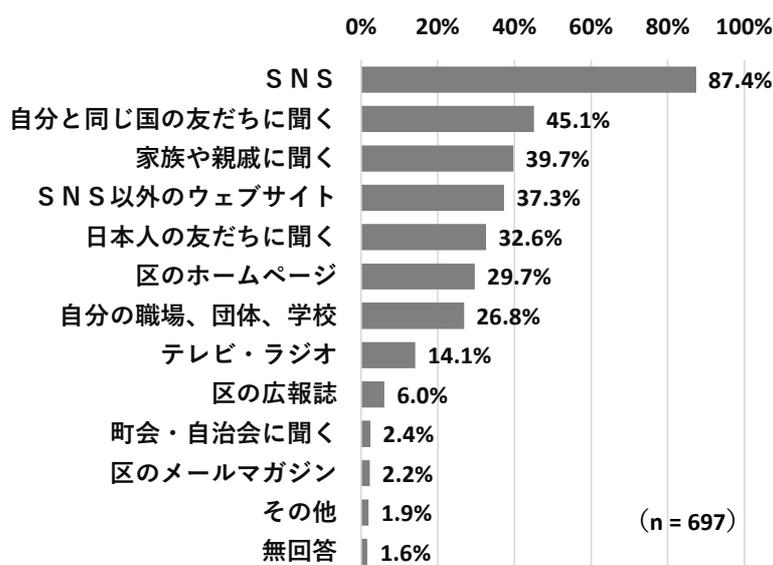
Q15 あなたは知りたいことをどうやって調べますか。(チェック☑は5つまで)



ポイント SNSの活用が特に高く、友人や家族からも情報を得ている

「SNS」の割合が87.4%と最も高く、「自分と同じ国の友だちに聞く」(45.1%)、「家族や親戚に聞く」(39.7%)と続いている。

図表III-4

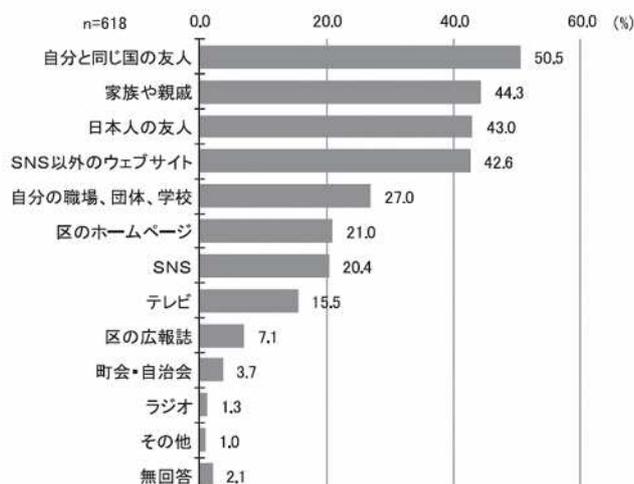


<前回(令和元年度)調査との比較>

前回調査では20.4%だった「SNS」が、今回調査では87.4%と67.0ポイント増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

図III-14. 知りたい情報の入手方法



Q16-1 あなたが情報を知るときに1番使うSNSは何ですか。(チェック☑は1つだけ)

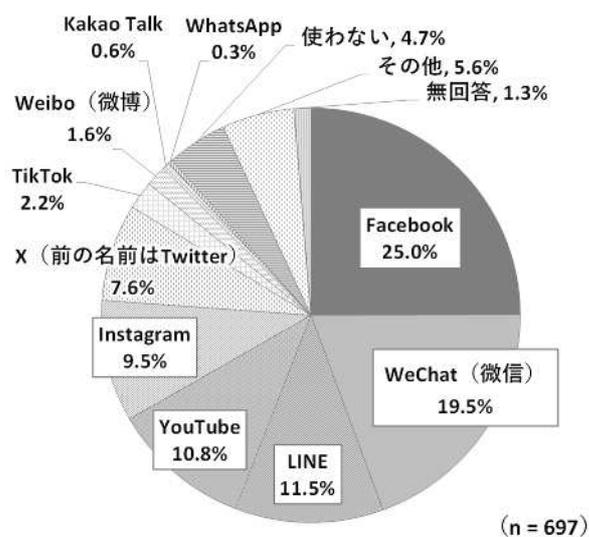


ポイント 「Facebook」、「WeChat (微信)」、「LINE」で半数を占める

「Facebook」の割合が25.0%と最も高く、「WeChat (微信)」(19.5%)、「LINE」(11.5%)と続いている。

図表III-5

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
Facebook	174	25.0%
WeChat (微信)	136	19.5%
LINE	80	11.5%
YouTube	75	10.8%
Instagram	66	9.5%
X (前の名前はTwitter)	53	7.6%
TikTok	15	2.2%
Weibo (微博)	11	1.6%
Kakao Talk	4	0.6%
WhatsApp	2	0.3%
使わない	33	4.7%
その他	39	5.6%
無回答	9	1.3%



Q16-2 あなたが連絡をとるときに1番使うSNSは何ですか。(チェック☑は1つだけ)

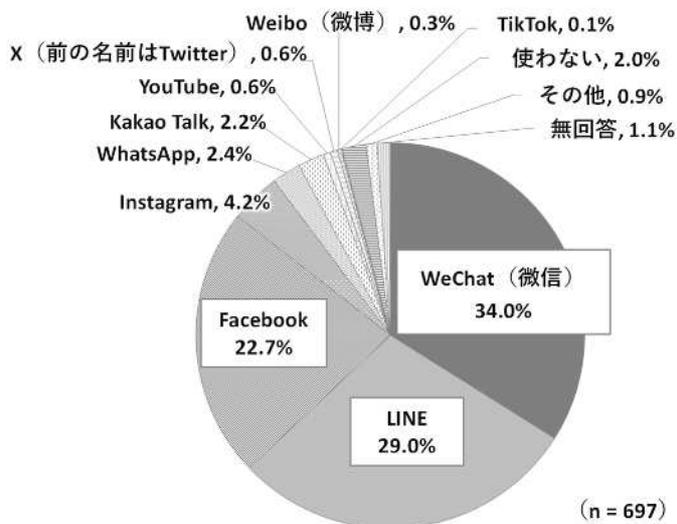


ポイント 「WeChat (微信)」、「Facebook」、「LINE」で8割半ばを占める

「WeChat (微信)」の割合が34.0%と最も高く、「LINE」(29.0%)、「Facebook」(22.7%)と続いている。

図表III-6

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
WeChat (微信)	237	34.0%
LINE	202	29.0%
Facebook	158	22.7%
Instagram	29	4.2%
WhatsApp	17	2.4%
Kakao Talk	15	2.2%
YouTube	4	0.6%
X (前の名前はTwitter)	4	0.6%
Weibo (微博)	2	0.3%
TikTok	1	0.1%
使わない	14	2.0%
その他	6	0.9%
無回答	8	1.1%



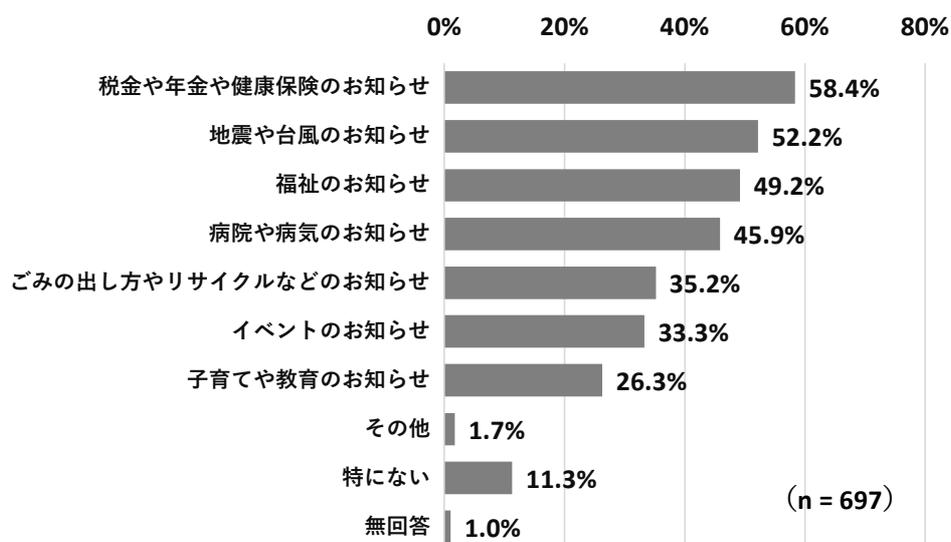
Q17 生活するときにどんなお知らせが必要ですか。(チェック☑は5つまで)



ポイント 税金・年金・健康保険、地震や台風に関するお知らせが半数を超える

「税金や年金や健康保険のお知らせ」の割合が 58.4%と最も高く、「地震や台風のお知らせ」(52.2%)、「福祉のお知らせ」(49.2%)と続いている。

図表III-7



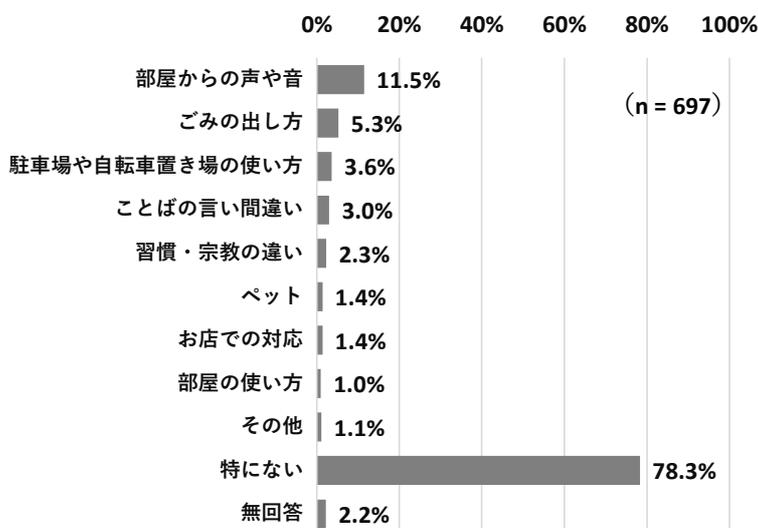
Q18 近くに住む人とトラブルになったことがありますか。(チェック☑はいくつでも)



ポイント 部屋からの声や音のトラブルが1割、一方で「特にない」がおよそ8割

「特にない」の割合が78.3%と最も高い。トラブルの原因としては、「部屋からの声や音」の割合が11.5%と最も高く、「ごみの出し方」(5.3%)、「駐車場や自転車置き場の使い方」(3.6%)と続いている。

図表III- 8

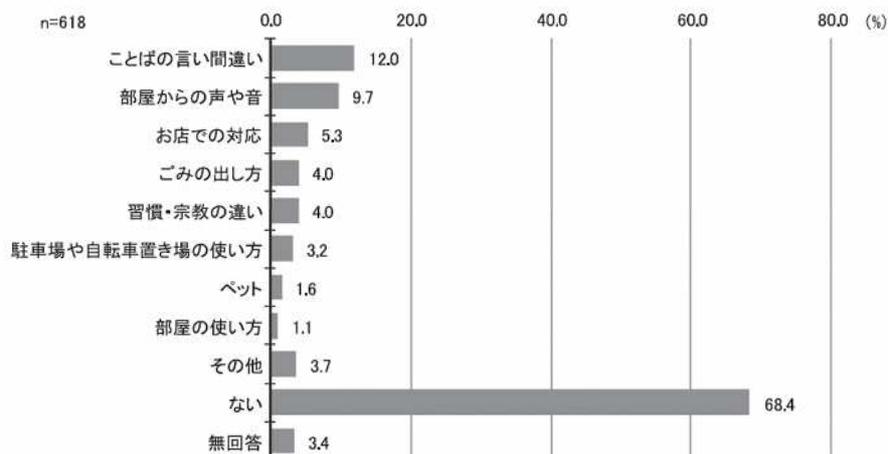


< 前回 (令和元年度) 調査との比較 >

前回調査で最も高かった「ことばの言い間違い」は3.0%と、9.0ポイント減少した。一方で「部屋からの声や音」は1.8ポイント、「ごみの出し方」は1.3ポイントそれぞれ増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

図III-20. 日本人とのトラブルの経験



IV. 地震、台風等への対応について

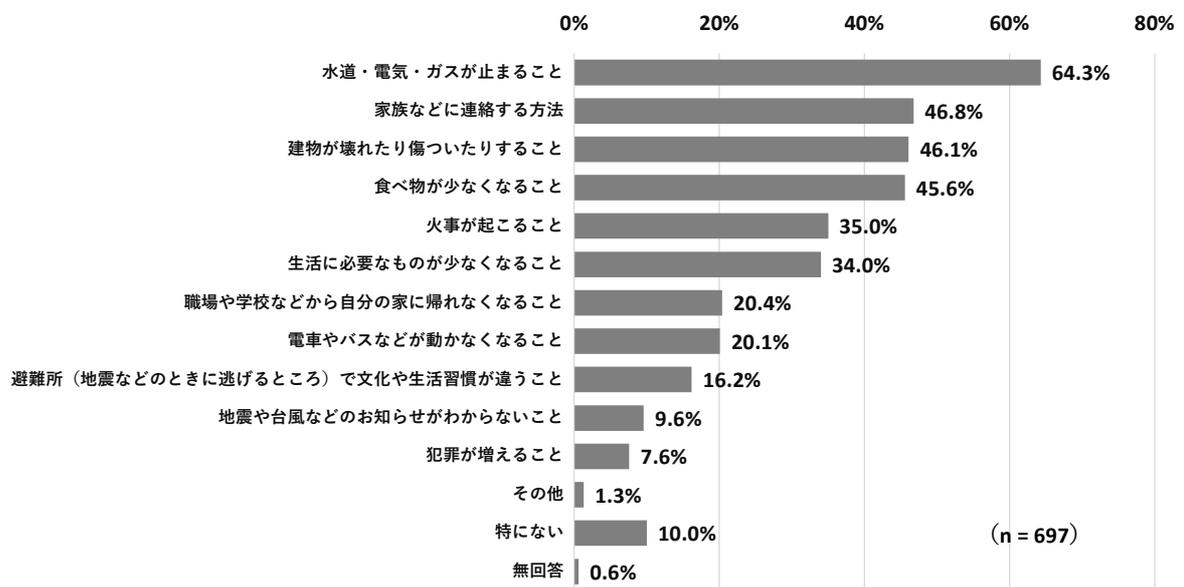
Q19 地震や台風などが起きたときに心配なことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



ポイント 「水道・電気・ガスが止まること」が最も不安

「水道・電気・ガスが止まること」の割合が64.3%と最も高く、「家族などに連絡する方法」(46.8%)、「建物が壊れたり傷ついたりすること」(46.1%)と続いている。

図表IV- 1



Q20 地震や台風などが起きたときの避難場所（逃げるところ）を知っていますか。
（チェック☑は1つだけ）

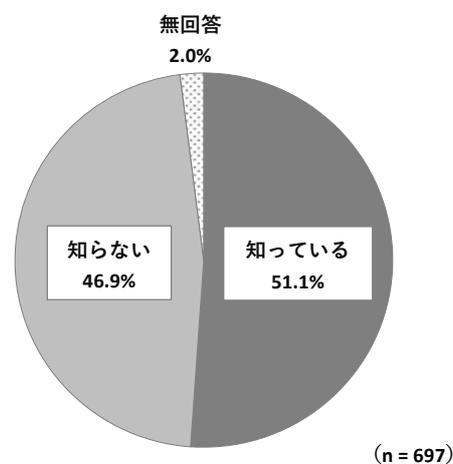


ポイント 「知っている」の割合はおよそ半数

「知っている」の割合が51.1%、「知らない」の割合は46.9%となっている。

図表IV- 2

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
知っている	356	51.1%
知らない	327	46.9%
無回答	14	2.0%

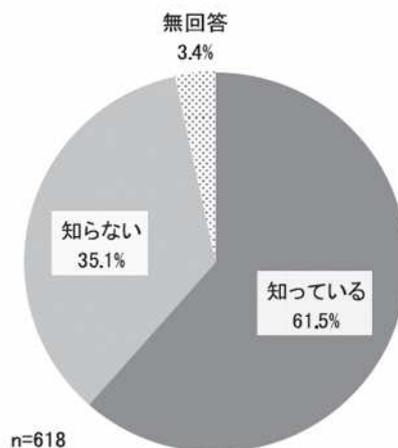


<前回（令和元年度）調査との比較>

「知っている」の割合は、前回調査では61.5%だったのに対し、今回調査では51.1%と、10.4ポイント減少している。

（参考）令和元年度調査結果

図IV- 3. 避難場所の認知度



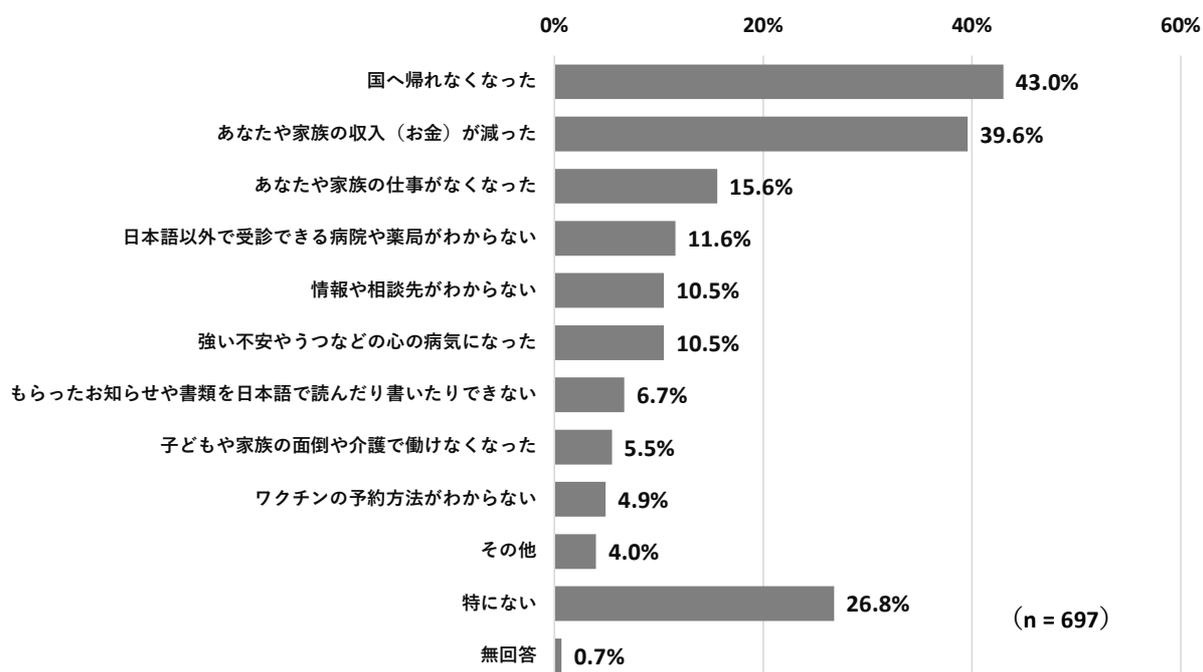
Q21 新型コロナウイルスの感染拡大で困ったことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



- ポイント
- ・「国へ帰れなくなった」の回答が4割を超える
 - ・「あなたや家族の収入(お金)が減った」の回答も4割近い

「国へ帰れなくなった」の割合が43.0%と最も高く、「あなたや家族の収入(お金)が減った」(39.6%)、「あなたや家族の仕事がなくなった」(15.6%)と続いている。

図表IV-3



V. 子育てや教育について

Q22 あなたには、いっしょに暮らしている15歳以下の子どもがいますか。
(チェック☑は1つだけ)

※ Q3で「子ども」と一緒に住んでいる、と回答した人が対象。

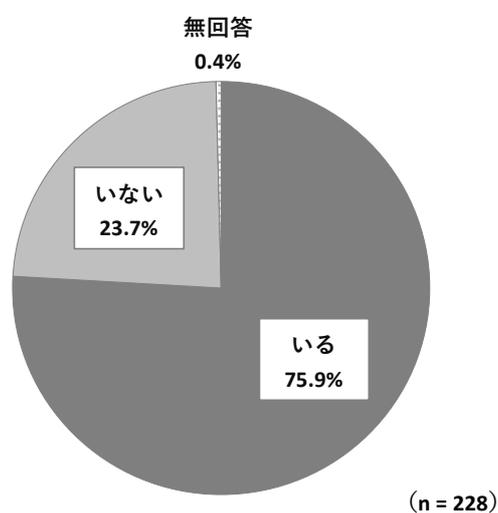


ポイント 15歳以下の子どもと一緒に住んでいる人は7割半ば

子どもと一緒に住んでいる人のうち、一緒に住んでいる15歳以下の子供が「いる」と回答した人の割合は75.9%となっている。

図表V-1

項目	回答者数	割合
全体	228	100.0%
いる	173	75.9%
いない	54	23.7%
無回答	1	0.4%



Q23 あなたの子どもは保育園や学校などに行っていますか。(チェック☑はいくつでも)

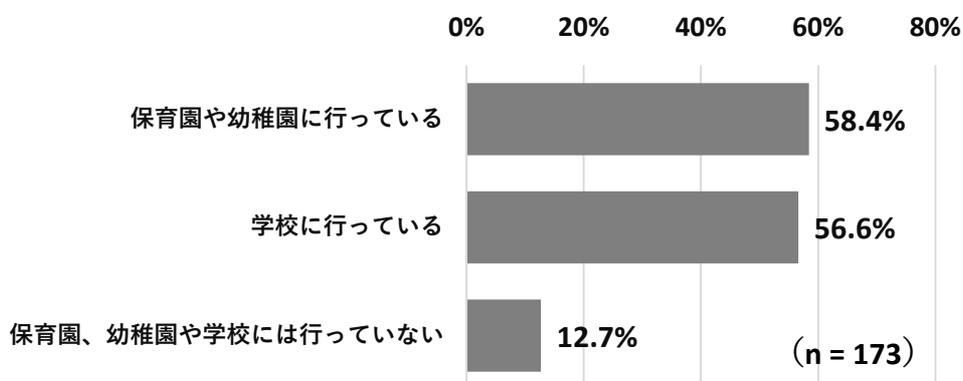
※ Q22 で 15 歳以下の子供が「いる」と回答した人が対象。



ポイント およそ 9 割は保育園や幼稚園、学校に通っている

15 歳以下の子供と一緒に住んでいる人のうち、子どもが「保育園や幼稚園に行っている」の割合が 58.4%、「学校に行っている」の割合は 56.6%。「保育園、幼稚園や学校には行っていない」の割合は 12.7%となっており、87.3%は保育園や幼稚園、学校のいずれかに通っている。

図表 V - 2



Q24-1 あなたの子どもやあなたが保育園や幼稚園で困っていることはありますか。
(チェック☑はいくつでも)

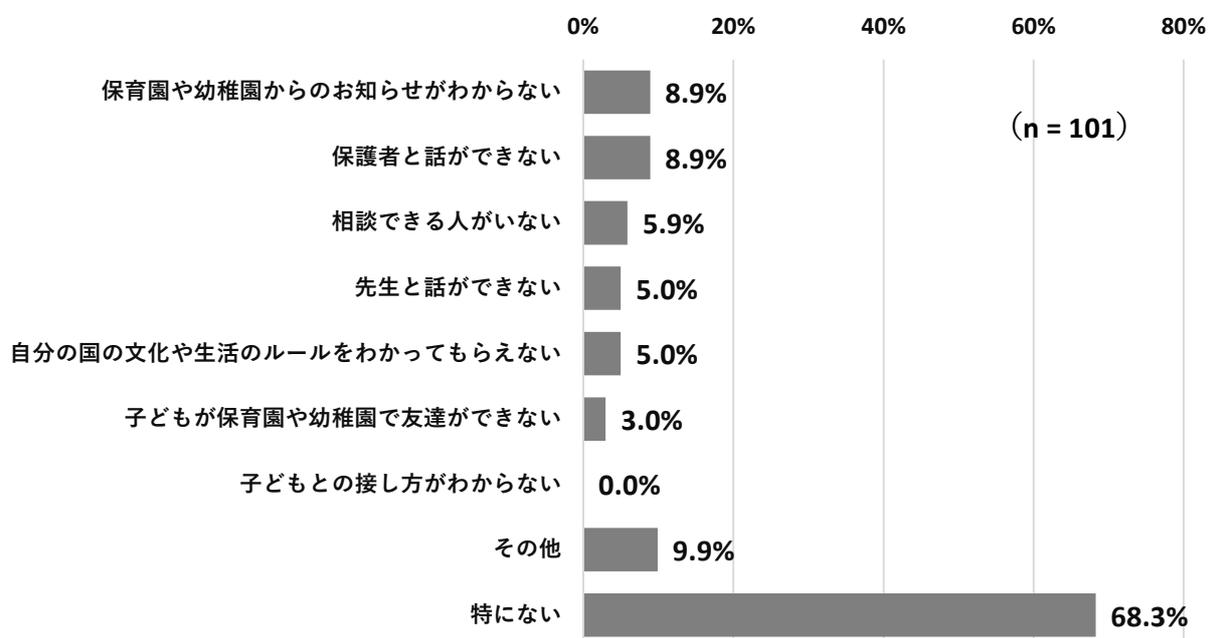
※ Q23で「保育園や幼稚園に行っている」と回答した人が対象。



ポイント 園からのお知らせがわからない、他の保護者と話ができない等で困っている

「特にない」の割合が68.3%と最も高い。困りごととしては、「保育園や幼稚園からのお知らせがわからない」及び「保護者と話ができない」の割合が8.9%と最も高く、「相談できる人がいない」(5.9%)と続いている。

図表V-3



Q24-2 あなたの子もはどの学校に行っていますか。(チェック☑はいくつでも)

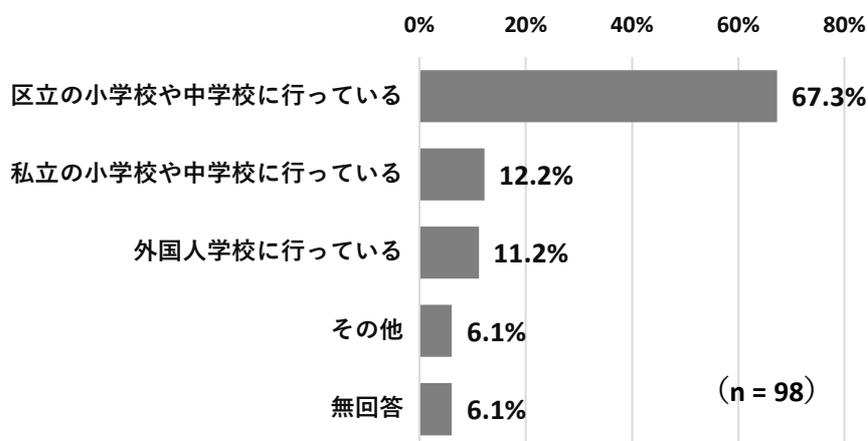
※ Q23で「学校に行っている」と回答した人が対象。



ポイント 「区立の小学校や中学校に行っている」の割合がおよそ7割

「区立の小学校や中学校に行っている」の割合が67.3%と最も高く、「私立の小学校や中学校に行っている」(12.2%)、「外国人学校に行っている」(11.2%)と続いている。

図表V-4



Q24-3 あなたの子どもやあなたが学校で困っていることはありますか。
(チェック☑はいくつでも)

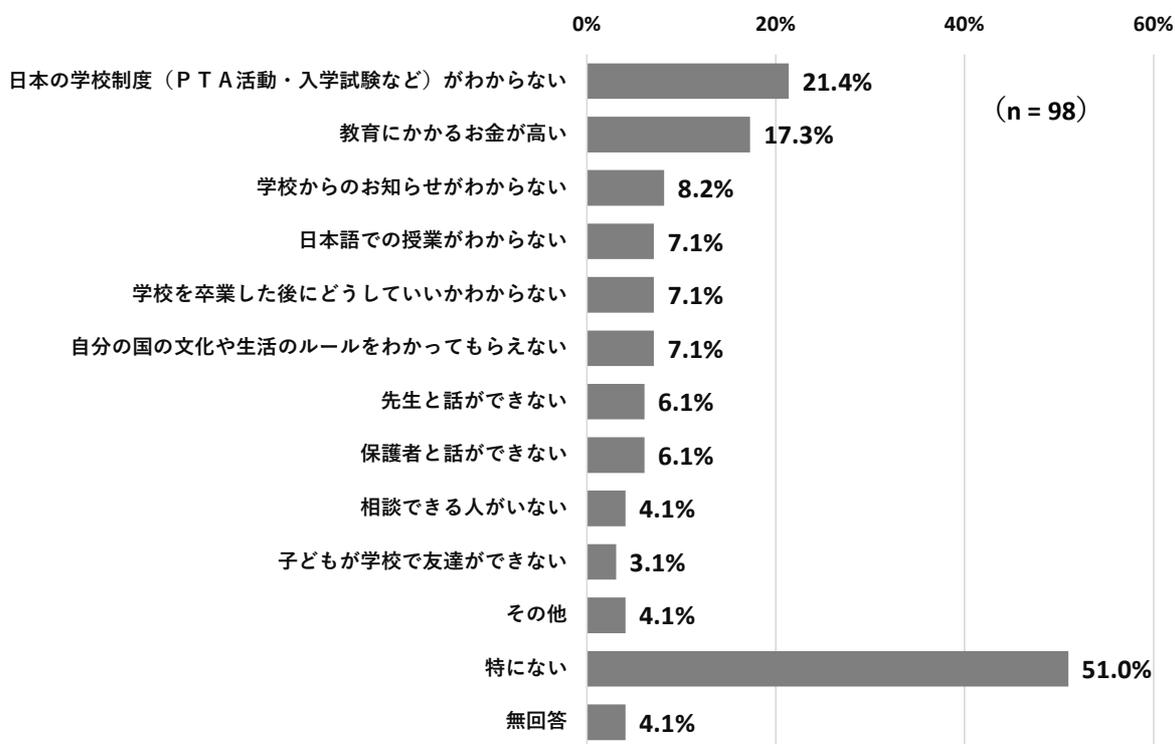
※ Q23で「学校に行っている」と回答した人が対象。



ポイント 日本の学校制度がわからなくて困っている

「特にない」の割合が51.0%と最も高い。困りごととしては、「日本の学校制度（PTA活動・入学試験など）がわからない」の割合が21.4%と最も高く、「教育にかかるお金が高い」(17.3%)、「学校からのお知らせがわからない」(8.2%)と続いている。

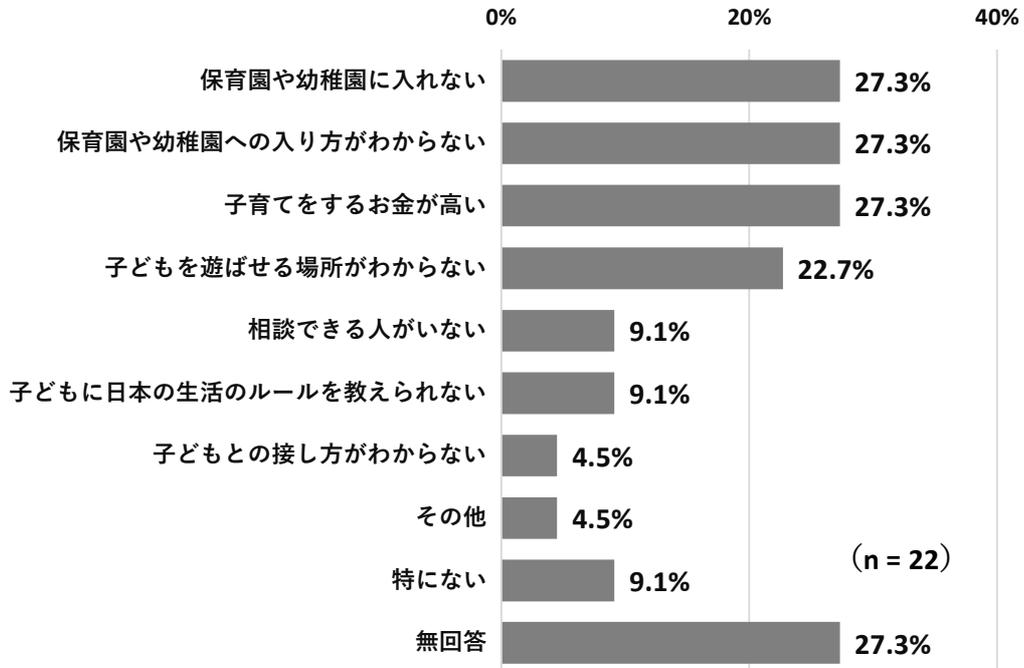
図表V-5



Q25 子育てについて困っていることはありますか。(チェック☑はいくつでも)

※ Q23 で「保育園、幼稚園や学校には行っていない」と回答した人が対象。
 ※ n 数が 50 未満のため、参考値とする。

図表 V - 6



VI. 多文化共生社会について

Q26 あなたは近くに住む人とどのような付き合いがありますか。(チェック☑は1つだけ)

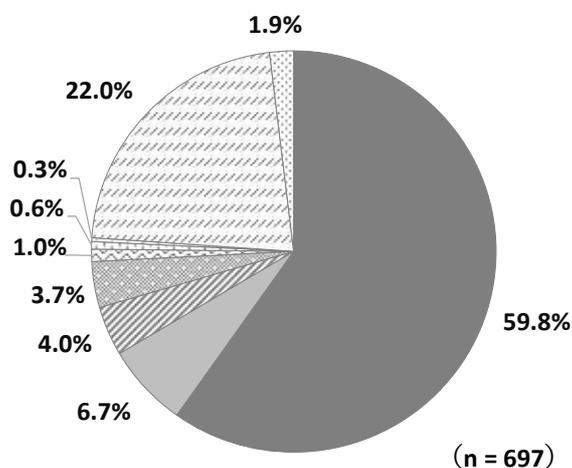


ポイント 「あいさつをするだけ」の割合がおよそ6割

近隣住民との付き合いとしては「あいさつをするだけ」の割合が59.8%と最も高く、「日常生活の話をする」(6.7%)、「困ったときに助け合っている」(4.0%)と続いている。一方で、「付き合いはまったくない」の割合は22.0%となっている。

図表VI- 1

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
あいさつをするだけ	417	59.8%
日常生活の話をする	47	6.7%
困ったときに助け合っている	28	4.0%
友達として付き合い合っている	26	3.7%
家族のように親しく付き合い合っている	7	1.0%
イベントなどで知り合うがその後の付き合いはない	4	0.6%
その他	2	0.3%
付き合いはまったくない	153	22.0%
無回答	13	1.9%



- あいさつをするだけ
- 日常生活の話をする
- ▨ 困ったときに助け合っている
- ▨ 友達として付き合い合っている
- ▨ 家族のように親しく付き合い合っている
- ▨ イベントなどで知り合うがその後の付き合いはない
- ▨ その他
- ▨ 付き合いはまったくない
- ▨ 無回答

Q27-1 あなたはこの1年間で地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動など）に参加しましたか。（チェック☑は1つずつ）

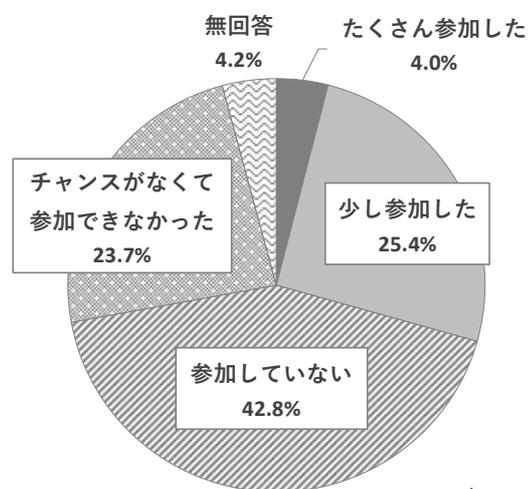


ポイント 少しでも参加した人の割合はおよそ3割

「たくさん参加した」の割合は4.0%、「少し参加した」の割合は25.4%で、少しでも参加した人の割合は29.4%となっている。一方、「チャンスがなくて参加できなかった」の割合は23.7%となっている

図表VI-2

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
たくさん参加した	28	4.0%
少し参加した	177	25.4%
参加していない	298	42.8%
チャンスがなくて参加できなかった	165	23.7%
無回答	29	4.2%



Q27-2 また、これから参加したいと思いますか。(チェック☑は1つずつ)

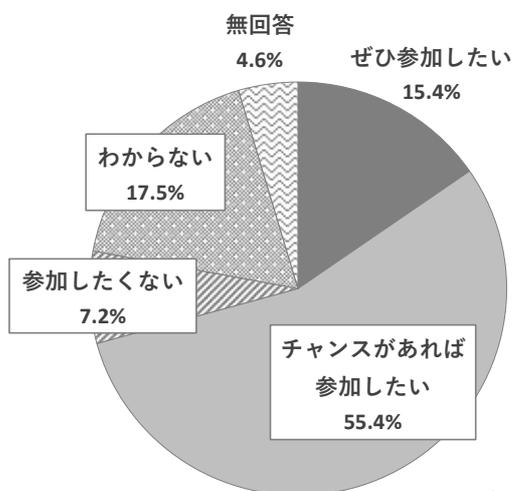


ポイント 7割以上が参加意向あり

「ぜひ参加したい」の割合は15.4%、「チャンスがあれば参加したい」の割合は55.4%で、参加意向のある人の割合は70.8%となっている。

図表VI-3

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
ぜひ参加したい	107	15.4%
チャンスがあれば参加したい	386	55.4%
参加したくない	50	7.2%
わからない	122	17.5%
無回答	32	4.6%



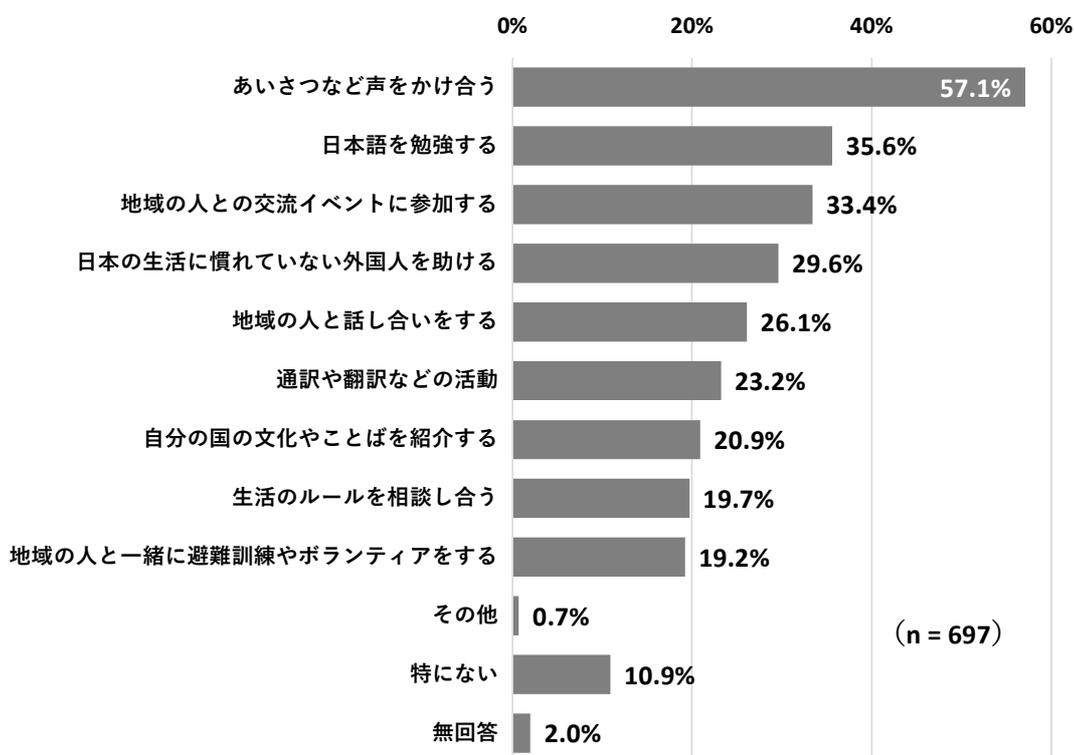
Q28 北区で地域の人と生活していくためにあなたは何かができますか。
 (チェック☑は5つまで)



ポイント 「あいさつなど声をかけ合う」がおよそ6割

「あいさつなど声をかけ合う」の割合が 57.1%と最も高く、「日本語を勉強する」(35.6%)、
 「地域の人との交流イベントに参加する」(33.4%)と続いている。

図表VI- 4



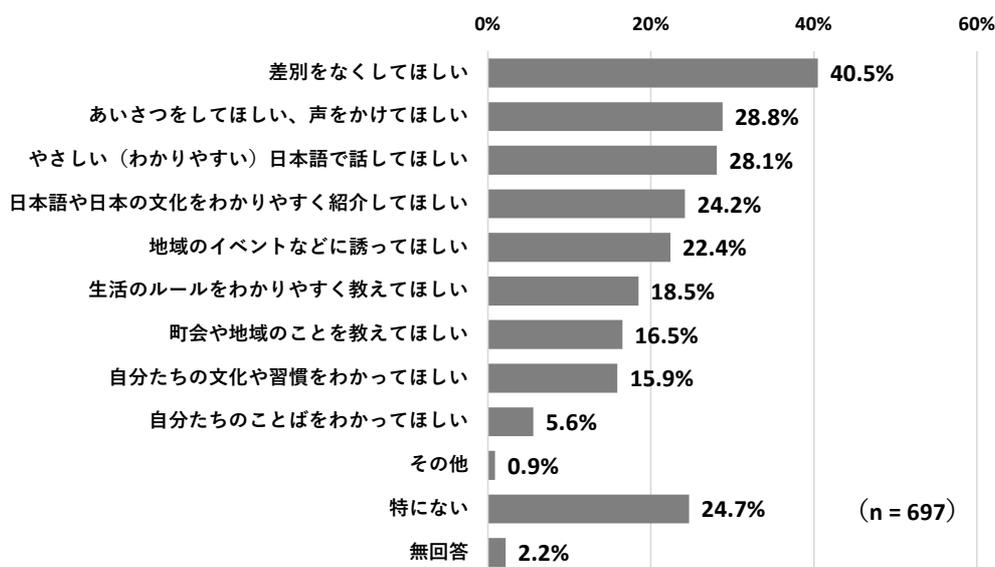
Q29 あなたが日本人にしてほしいことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



ポイント 「差別をなくす」ことが求められている

「差別をなくしてほしい」の割合が40.5%と最も高く、「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」(28.8%)、「やさしい(わかりやすい)日本語で話してほしい」(28.1%)と続いている。

図表VI- 5

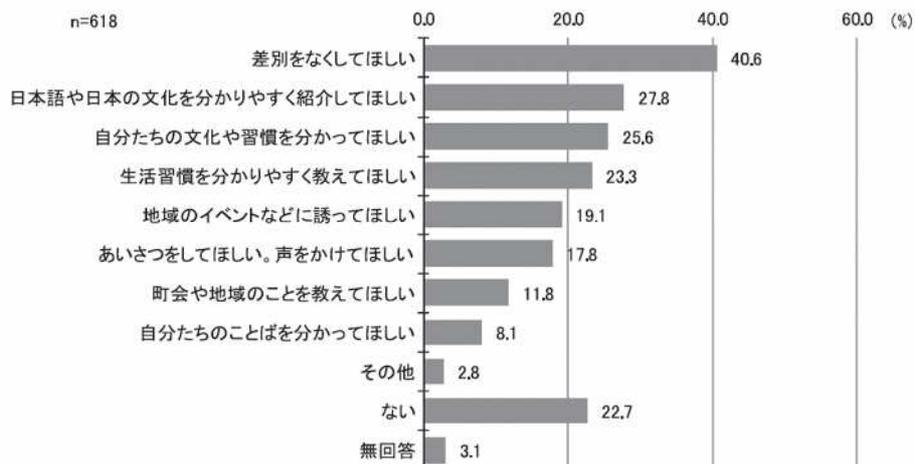


< 前回 (令和元年度) 調査との比較 >

前回調査から「差別をなくしてほしい」の割合はほとんど変化がない。「自分たちの文化や習慣をわかってほしい」の割合は、前回調査から9.7ポイント減少している。一方で「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」の割合は前回調査から10.0ポイント増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

図Ⅲ-28. 日本人にしてほしいこと



VII. 北区の実施に対する評価

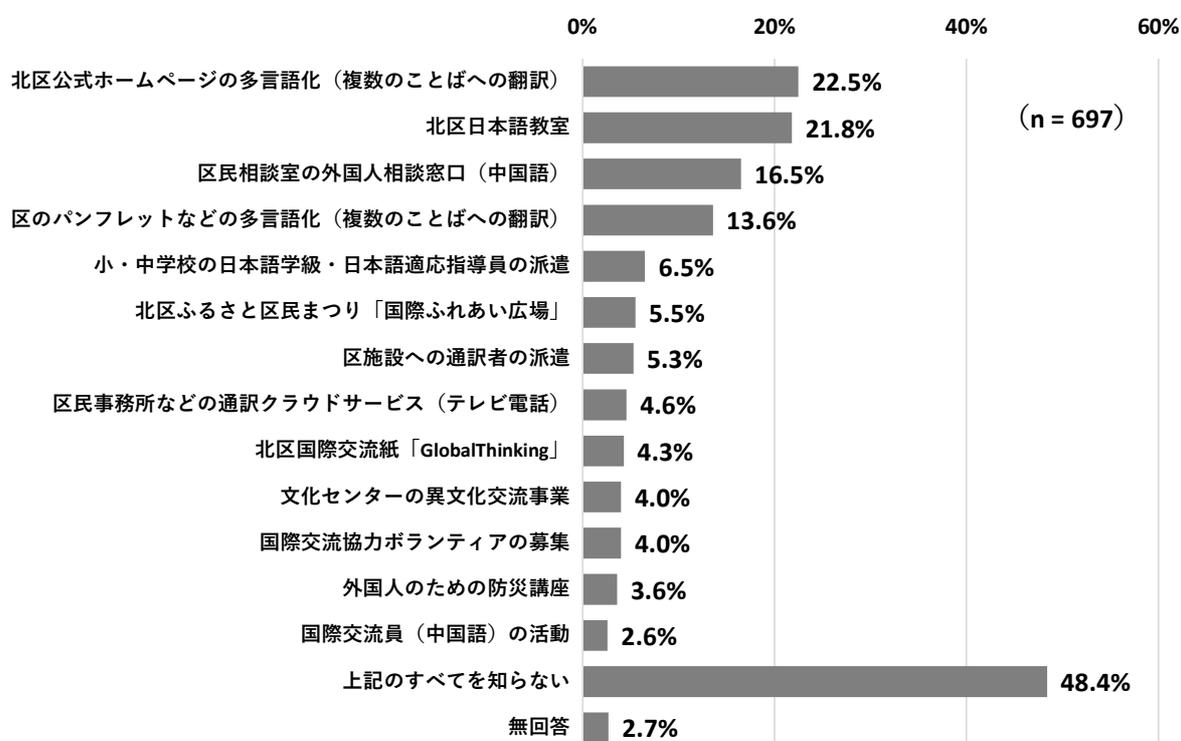
Q30 北区が行っている次の取組やサービスについてあなたが知っているものを教えてください。(チェック☑はいくつでも)



ポイント 「北区公式ホームページの多言語化」や「北区日本語教室」がおよそ2割

「北区公式ホームページの多言語化（複数のことばへの翻訳）」の割合が22.5%と最も高く、「北区日本語教室」（21.8%）、「区民相談室の外国人相談窓口（中国語）」（16.5%）と続いている。一方で「上記のすべてを知らない」の割合は48.4%となっている。

図表VII- 1



Q31 あなたは北区が行っている次の取組にどのくらい満足していますか。
 また、その取組はあなたにとってどのくらい重要ですか。
 (チェック☑はそれぞれ1つずつ)

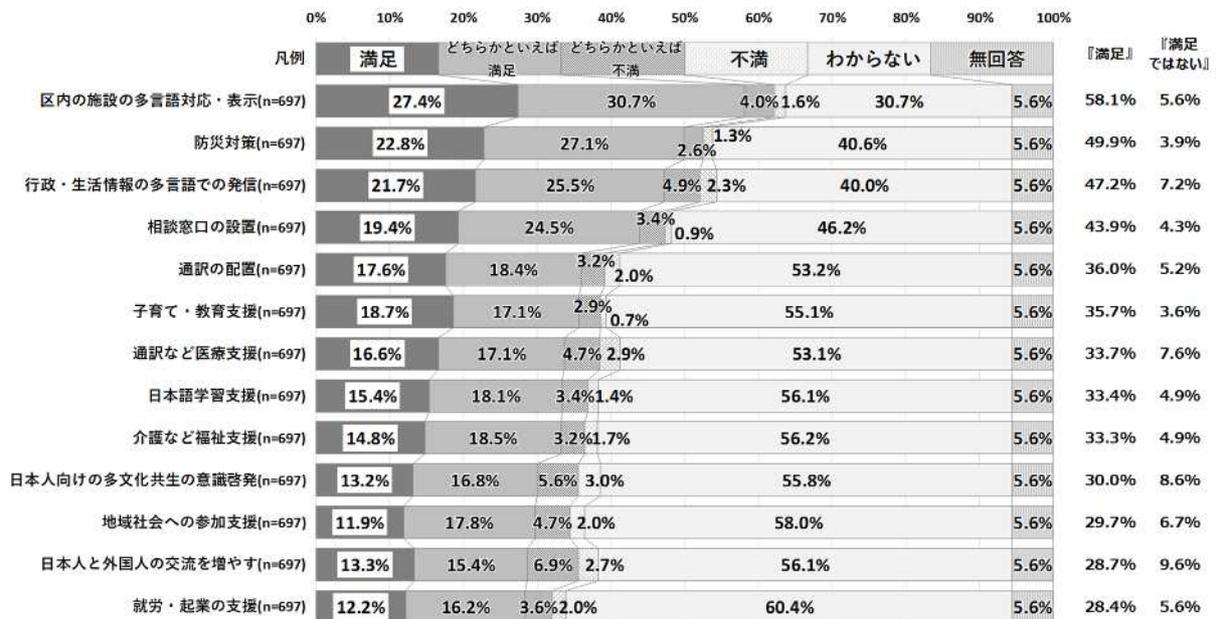
(1) 北区が行っている取組の満足度



ポイント 「区内の施設の多言語対応・表示」が最も満足

「区内の施設の多言語対応・表示」が 58.1%と最も『満足』であり、「防災対策」(49.9%)、「行政・生活情報の多言語での発信」(47.2%)と続いている。

図表VII- 2



『満足』 = 「満足」 + 「どちらかといえば満足」
 『満足ではない』 = 「どちらかといえば不満」 + 「不満」

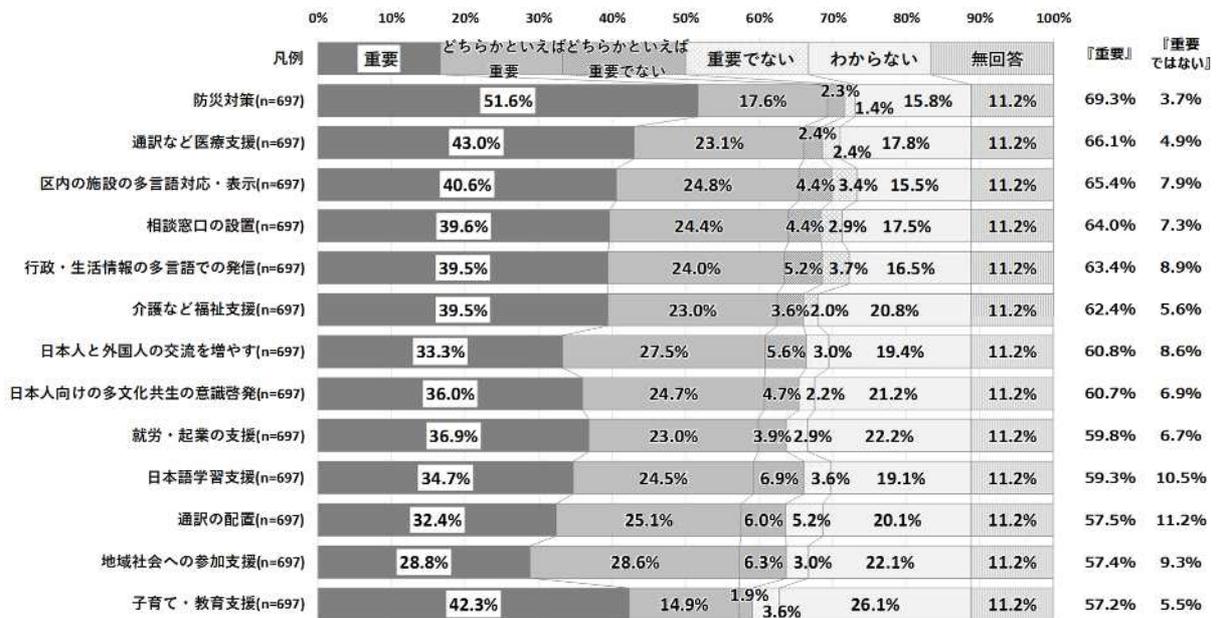
(2) 北区が行っている取組の重要度



ポイント 「防災対策」が最も重要

「防災対策」が69.3%と最も『重要』であり、「通訳など医療支援」(66.1%)、「区内の施設の多言語対応・表示」(65.4%)と続いている。

図表VII- 3



『重要』 = 「重要」 + 「どちらかといえば重要」

『重要ではない』 = 「どちらかといえば重要ではない」 + 「重要ではない」

(3) 北区が行っている取組の満足度と重要度の相関

北区が行っている取組について、各回答者の満足度と重要度を下記方法にて点数化したうえで、それぞれの平均点（満足度 0.58、重要度 1.15）を基準として、「A：満足度は低い、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高い、重要度は低い」の4つの領域に分けた。

◆ 満足度の評価点

「満足」2点、「どちらかといえば満足」1点、「どちらかといえば不満」-1点、「不満」-2点、「わからない」0点

◆ 重要度の評価点

「重要」2点、「どちらかといえば重要」1点、「どちらかといえば重要でない」-1点、「重要でない」-2点、「わからない」0点

◆ 平均評価点の算出方法

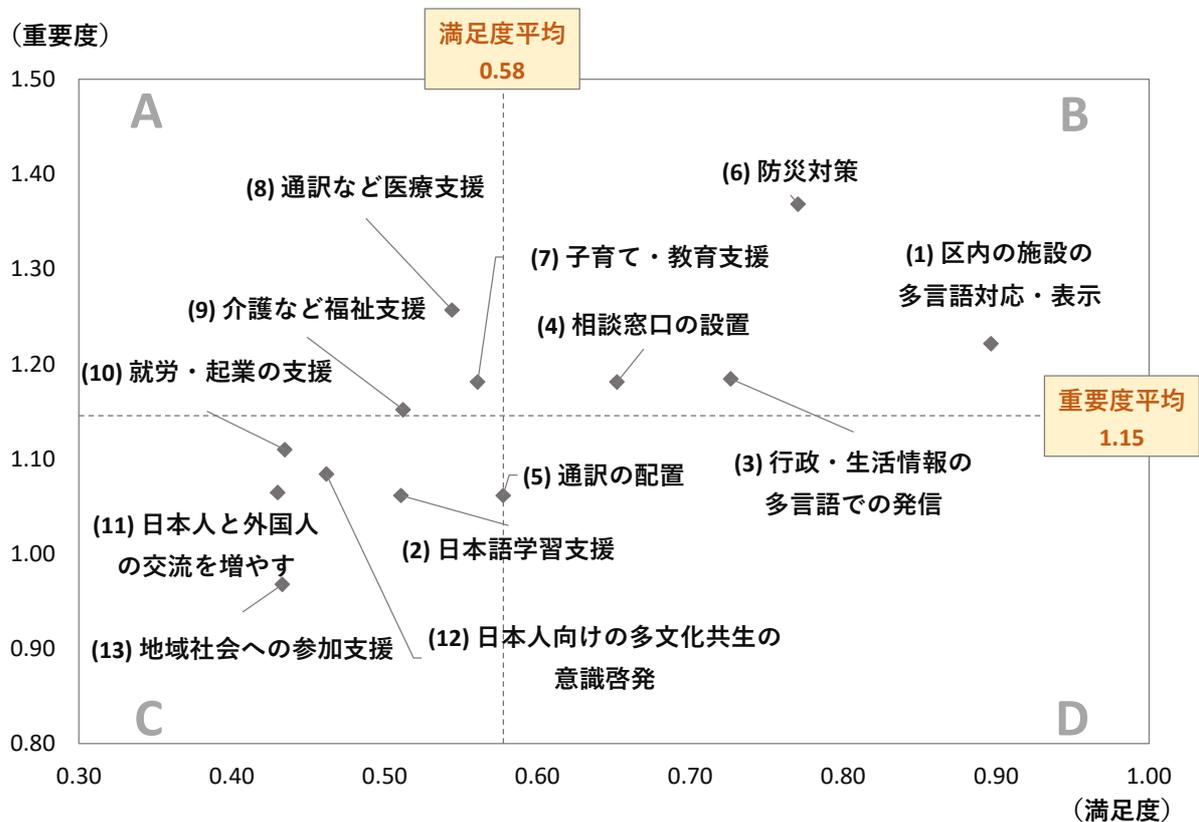
(それぞれの評価点×それぞれの評価を回答した人数)の合計÷無回答を除く全回答者数



ポイント 満足度は低い、重要度は高いものは「通訳など医療支援」など3つ

満足度は低い、重要度は高い A 領域には、「子育て・教育支援」「通訳など医療支援」「介護など福祉支援」が位置づけられる。

図表VII- 4



VIII. その他

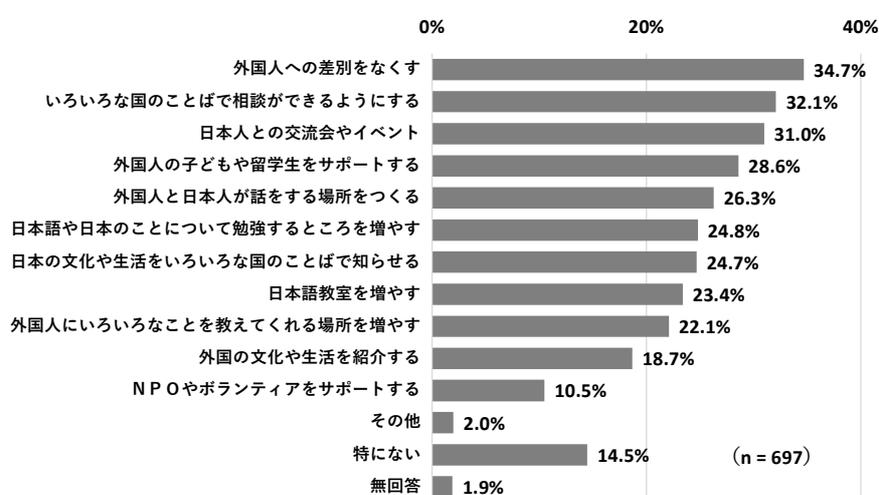
Q32 北区は何をすればいいと思いますか。(チェック☑は5つまで)



ポイント 外国人への差別をなくす必要がある

「外国人への差別をなくす」の割合が34.7%と最も高く、「いろいろな国のことばで相談ができるようにする」(32.1%)、「日本人との交流会やイベント」(31.0%)と続いている。

図表VIII- 1

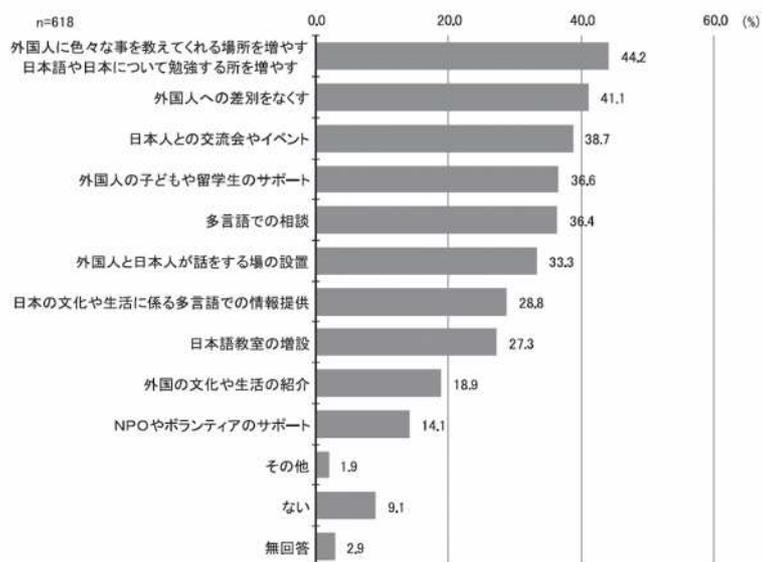


<前回(令和元年度)調査との比較>

前回調査で最も割合の高かった「日本語や日本について勉強するところを増やす」は今回24.8%と、19.4ポイント減少している。

(参考) 令和元年度調査結果

図VI-4. 北区への要望



Q33 あなたはこれからも北区に住みたいですか。(チェック☑は1つだけ)

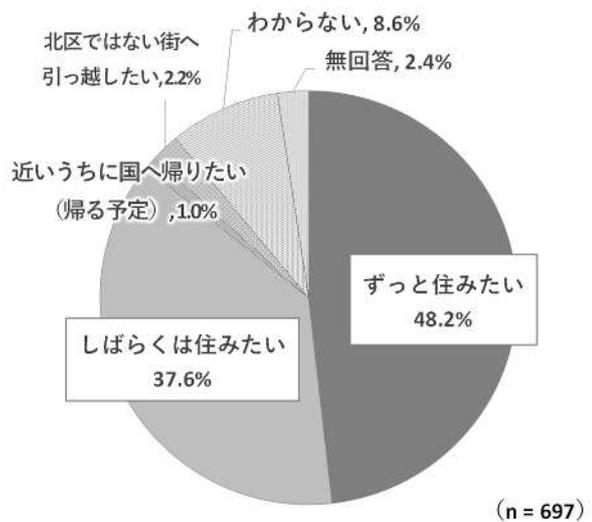


ポイント 8割以上は今後も北区に住みたいと思っている

「ずっと住みたい」の割合が48.2%と最も高く、「しばらくは住みたい」の割合は37.6%となっており、85.8%は今後も居住意向がある。

図表VIII- 2

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
ずっと住みたい	336	48.2%
しばらくは住みたい	262	37.6%
近いうちに国へ帰りたい(帰る予定)	7	1.0%
北区ではない街へ引っ越したい	15	2.2%
わからない	60	8.6%
無回答	17	2.4%



北区外国人意識・意向調査 報告書【令和5年度】

令和6（2024）年3月発行

刊行物登録番号

5-1-135

発行 北区 総務部 総務課

〒114-8508 東京都北区王子本町一丁目15番22号

電話 (03) 3908-9308

調査分析 株式会社サーベイリサーチセンター

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里二丁目40番10号

電話 (03) 3802-6711